

## 令和5年度 第2回浜松市立図書館協議会 会議録

- 1 開催日時 令和5年11月6日（月） 午後2時00分から4時00分まで
- 2 開催場所 浜松市立中央図書館 大会議室
- 3 出席状況 委員：岡田 建志、清水 友理子、遠藤 浩子、高木 みゆき、  
永田 浩介、三宅 栄子、三津間 洋子  
  
欠席：屋名池 倫子  
  
事務局：  
文化振興担当部長 嶋野聡、  
中央図書館長 枝村賢美、  
中央図書館館長補佐 内藤真澄、  
図書館管理グループ長 佐藤文彦、  
図書館サービスグループ長 鈴木早苗、  
調査支援グループ長 吉田佐織、  
資料・情報グループ長 鶴飼康生、  
天竜図書館長 笹竹由美子、春野図書館長 森下和之、  
佐久間図書館長 藤本勝治、水窪図書館長 宇井智洋、  
龍山図書館長 鈴木忠、  
中央図書館 森田ひとみ主任、増原愛海、北村麗凧
- 4 傍聴者 0人（一般：0人、記者：0人）
- 5 議事内容 (1) 図書館評価について  
(2) その他  
・西図書館の移転について  
・図書館システムの新機能について
- 6 会議録作成者 図書館管理グループ主任 森田ひとみ
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
- 8 会議記録

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 文化振興担当部長あいさつ
- 4 議題

## (1) 図書館評価について

佐藤図書館管理グループ長が説明

- ◆資料1 図書館評価について
- ◆資料2 図書館評価の方法について
- ◆資料3 浜松市立図書館評価（令和4年度）案

## 質 問 意 見

- 三 津 間 委 員 　　すべての項目について言えることだが、その達成率は、目標値をどのような意図で設定するかによって決まってくると思う。図書館としてここまで到達したいという思いで目標値を設定するのか、昨年度やコロナ禍前の実績を元に設定をするのかによって結果は違ってくるはずである。  
　　「生かす」の評価指標である「図書館HPアクセス件数」について、結果としては目標値を下回ったということで「3」という評価点になっているが、この目標値は図書館としてここまで伸ばしたい、戦略として力を入れたいという意図で高めに設定したものなのか。
- 鵜 飼 　G 長 　　アクセス件数については、前年度までの伸びが良かったため、過去数年間の増減率を基にもう少し伸びるのではないかという見込みで、高めに設定をした。
- 三 津 間 委 員 　　評価をするにあたり、通常だと5段階評価の「3」という評価点は「普通」やそこそこといった評価になると思われるが、「3」という評価点であっても努力をし良い評価である場合があるということを念頭に置く必要がある。  
　　また、西図書館が移転し新しくなることで来館する人が増えることが予想される。新規開館予定である令和7年度の貸し出し件数等が増えることに期待する。
- 岡 田 委 員 　　ここ数年の図書館HPのアクセス件数の増加の要因については、ちょうどコロナ禍であり、直接図書館には来られないが、何かしら図書館と繋がっていたい方が増え、HPを閲覧するようになったのが要因ではないかと推測する。  
　　そういった方がコロナ政策の緩和を受け、直接図書館に行くことができるようになったため、HPのアクセス件数が減少したとのことではないだろうか。  
　　しかしながら、浜松市立図書館の状況だけでは判断しかねるため、他の地域の動向を確認したいところである。次回以降、評価を行う際はその点も加味してもらえると良い。  
　　「【いかす】《外部評価》図書館協議会による意見、課題」の中に、「多様なニーズに合わせてほしい」という意見がある。これはICTの活用に馴染みのない方を含めての「多様なニーズ」という認識で良いか。
- 佐 藤 　G 長 　　広報のあり方について、ICTの活用に馴染みのない方々への配慮を含んでいる。従来の紙媒体の広報も含めて、より時代に沿った方法で取り組んでいきたいと考えている。
- 三 宅 委 員 　　【はぐくむ】の評価内容についての話を聞き、初めて耳にする取り組みもあると感じた。このような情報は各図書館では、図書館だよりやお知らせなどで周知をしていると思うが、普段利用している図書館以外の情報は積極的に受け取りにいかなければ取得ができないのだろうか。
- 鈴 木 　G 長 　　図書館のHPに「イベント・展示情報」があり、そこから情報はご覧いただけるようになっている。  
　　また、子供向けのイベントについては、子育て情報サイト「ぴっぴ」にも情報提供を行っている。X（旧ツイッター）やインスタグラムなどSNSを行っている図書館もあり、その館独自の情報はそこで把握できるようになっている。

岡田委員 【つながる】について、日本語学院の方の話があったが、日本語を勉強中の方は日本語の図書を読みたいとのことで図書館を利用しているのか。

鈴木G長 日本語の図書を借りたいというよりも、外国語コーナーにある日本語のテキストや母語で書かれた図書をよく利用いただいている。  
また電子図書で見られる様々なコンテンツや、日本語学習資料なども御覧になっている。図書館ツアーで館内をご案内したときには、座席予約システムにも興味を持っていただいた。

三津間委員 おでかけ絵本講座は、保育園や幼稚園、小学校で行われる印象があるが、与進中学校が、保育園や幼稚園の職場実習に行く際の事前学習で講座を活用したという事例が非常に参考になった。  
職場体験はすべての中学校で行われているはずである。実習先として様々な職場があるが、その中には保育園や幼稚園も含まれる。  
おでかけ絵本講座は、絵本を通して乳幼児と接する心構えなどを学べると思われるため、心強い。中央図書館に設置している学習支援センターの担当である指導主事を中心に、こういった使い方もあるということを是非PRしてほしい。  
ただし職場体験の時期は市内同じのため、上手に調整をしながらニーズがあれば対応いただけるとありがたい。

鈴木G長 与進中学校には令和元年に一度おでかけ絵本講座で訪問している。コロナ禍で途絶えてしまったが、今年度の先生方が、以前おでかけ絵本講座を申し込んだことを覚えてくださっており、今回も申し込みをいただいた。

三津間委員 今回も申し込みがあったということは、やってみて良かったという学校側にとってはありがたい講座であったということである。  
その経験をした先生が別の学校に異動した際には、異動先の学校で申し込みをしてくれると思われる。  
これまでの傾向で図書館と関係が希薄になりがちであった、中学生、高校生へのアピールとなる一つの良い機会である。

岡田委員 18歳以下の利用者カードの登録率に関連して、高校生にもなると、自身の意欲に応じて難しい本も読むと思うが、中高生がちょうど読みたい、その年代に合う図書は蔵書の中でどれくらいあるのか。

鵜飼G長 一般書、児童書の中から中高生向けの本をピックアップし、ヤングコーナーとして設置している図書館がある。  
浜松市の蔵書のうち2万3千から2万4千くらいの本がヤングコーナーの図書として扱われている。  
ヤングコーナーは全館設けているわけではなく、設置の規模も様々であるが、設置の有無にかかわらず中高生向けの本の収集は行っている。

岡田委員 所蔵しているだけでは中高生向けの本を探すハードルが上がってしまう。こういう「中高生向けの本もあるよ」という工夫があると、その年代の利用者登録率が上がると考える。

令和4年度の図書館評価を確定、公開をするということで審議終了。

(2) その他

- ・西図書館の移転について
- ・図書館システムの新機能について

- 岡田委員 西図書館の移転スケジュールを見ると、西図書館所蔵の資料が利用できない期間があると思うが、その期間は数ヶ月程度か。
- 内藤補佐 西図書館所蔵の本は、移転後も引き続き利用をする。そのため令和7年3月に現在の西図書館を閉館し、移転先へ移動する間は利用が不可能である。
- 岡田委員 それは他館から西図書館の蔵書に予約をするといったこともできないという認識でよろしいか。
- 内藤補佐 お見込みのとおりである。
- 岡田委員 西図書館にしかない本を利用したい方もいると思うので、周知はなるべく早くお願いをしたい。
- 清水委員 多目的コーナーという場所は、どのような使われ方をされるのか。
- 内藤補佐 地区図書館で講座等を開催する際に使用をしたいと考えている。
- 清水委員 一条スマートタウンは若い世代、家族が入ってくるはずである。子供向けのサービスに限らず、ビジネス等働く世代が必要とする講座も充実させていくと良いと考える。
- 内藤補佐 どんな講座を行うかは、アンケート等でニーズなどを聞きながら検討していきたい。
- 三宅委員 図書館アプリを導入するのは全国的な傾向なのか。
- 鵜飼G長 図書館利用アプリや類似のアプリを導入している図書館は、全国的にはまだ少数であるが、徐々に進んでいる。  
電子図書との連携は、浜松市より先に行っている市町もある。実は図書館システムの更新時期と電子図書の導入時期が一致していないと、最初から連携版をスタートさせるのは難しい。そのため浜松市では図書館システムと電子図書は独立したサービスであった。マイナンバーカードとの連携については、以前から利用者カードの代わりに使用できるようにするなどの事例が他都市にある。  
しかし実際にマイナンバーカードで利用する人は少数という印象である。従来のように利用者カードを提示、あるいはスマートフォンに自身の利用者カードを表示して使用の方が手軽であり、圧倒的に多い。今後の動向を注視していきたい。

9 会議録署名人 岡田 建志 会長

永田 浩介 委員

令和5年11月6日に開催された浜松市立図書館協議会の議事録の要点について、上記のとおり間違いないことを確認した。

令和 年 月 日

署名 \_\_\_\_\_

署名 \_\_\_\_\_